

病床整備に係る状況について

横須賀・三浦地区の基準病床数に対して既存病床数が 211 床下回る状況にあることから、横須賀・三浦地区の全病院に対して病床整備について照会を行った結果を取りまとめたので報告する。

1 令和 4 年 4 月 1 日現在、基準病床数に対して既存病床数が 211 床下回っている状況での病床の公募に関する意見

	意見等
公募の必要あり	病床が不足している状況で公募の余地があれば、現在計画中の病院新築に合わせて療養病床の増床許可を頂きたい。

	意見等
公募の必要なし	今回もコロナの影響で実稼働が極めて不規則であり、病床の確保を決定するには変動幅が大きく、来年度に持ち越すべき。
	公募する前に休棟病床を再開することが先だと思う。また再開するため、問題点を解決することが大切。
	この地域・病床種別による人材確保の難しさに直面している。また、三浦半島地域においては急性期・回復期・慢性期が常に満床という話はなかなか聞かないため、増床は必要ないのではと考える。

2 公募を実施する場合の条件に関する意見

不足している機能が優先である。
感染症病床を条件とする。

3 今後（来年度以降）公募を実施するとした場合、その公募条件に対する意見

新たに病床を稼働させることよりも、各病院の既存病床をフル稼働・フル活用させるため、三浦半島地域における永続的な人材確保等を検討すべき。
不足している機能、休床の再開が優先である。
横須賀・三浦二次医療圏では医療職不足からの休床稼働も課題としてあるが、それを除いて稼働できるベッドがあれば公募を続けていただきたい。